

弘前市の基礎データ



○人 口 (推 計)

157, 382人

※令和7年10月1日現在

※令和2年国勢調査人口等基本集計
(総務省統計局集計)を基礎に推計

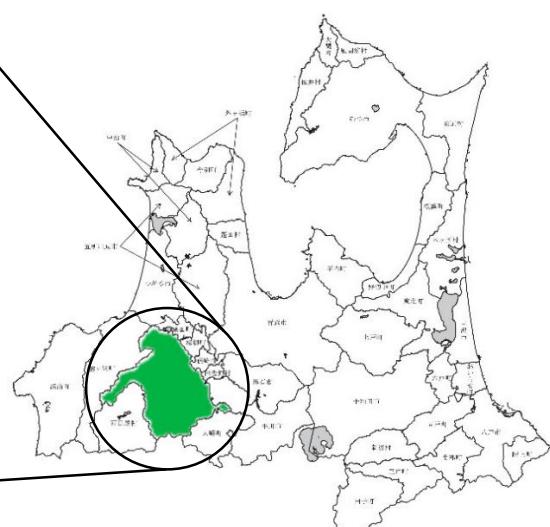
○面 積

524. 20 km²

○位 置

東経 140度9分～36分

北緯 40度28分～45分





人口の推移



弘前市の総人口は、平成7年の19万4,197人をピークに減少が続き、令和2年は16万8,466人となっています。年齢3区分別では、平成12年から年少人口を老年人口が上回り、令和2年には老年人口が年少人口の3倍以上となっています。

<弘前市>

○年齢3区分別人口

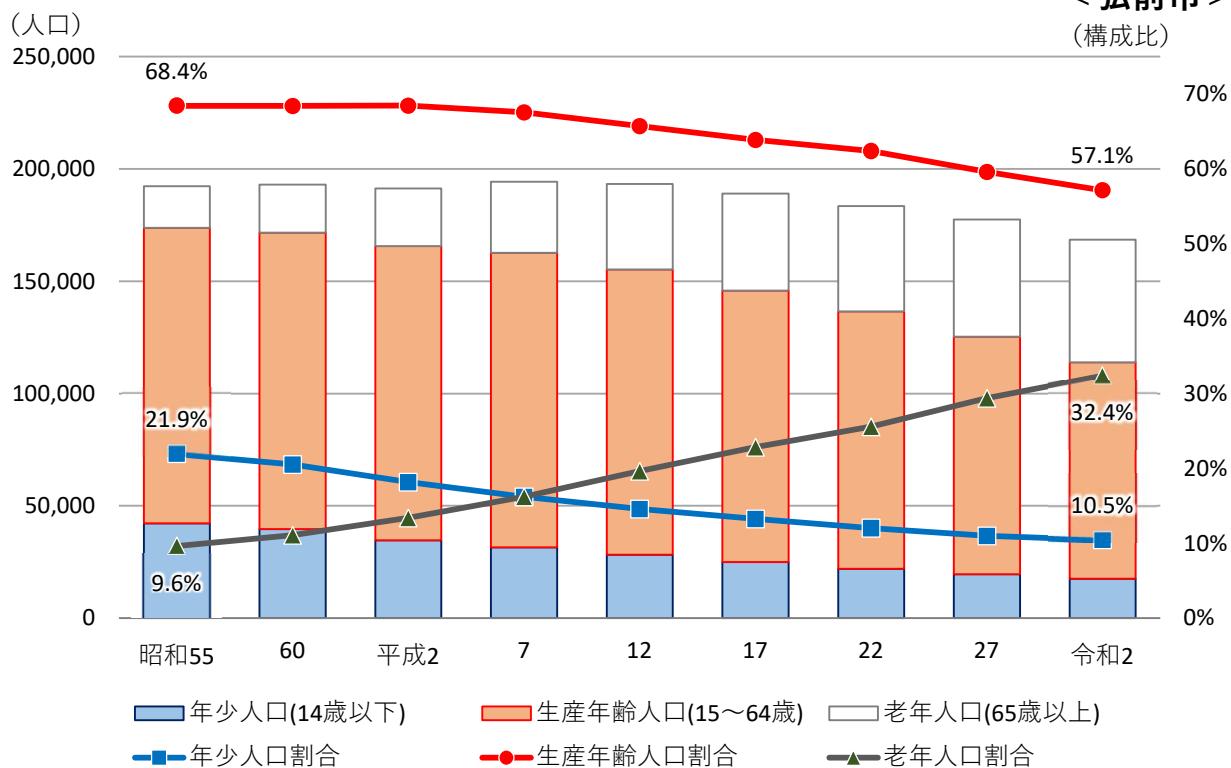
(単位：人)

年 次	総人口	年齢3区分別人口		
		年少人口 (14歳以下)	生産年齢人口 (15～64歳)	老年人口 (65歳以上)
1980年	S55	192,291	42,155	18,553
1985年	S60	192,989	39,630	21,341
1990年	H2	191,217	34,703	25,591
1995年	H7	194,197	31,465	31,451
2000年	H12	193,217	28,251	37,954
2005年	H17	189,043	25,051	43,199
2010年	H22	183,473	21,829	46,401
2015年	H27	177,411	19,410	51,830
2020年	R2	168,466	17,417	53,922

※年齢3区分別人口に年齢不詳は含めていない

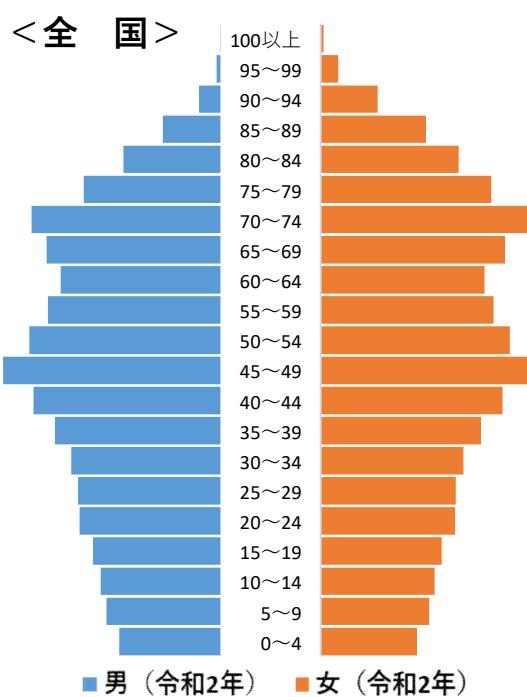
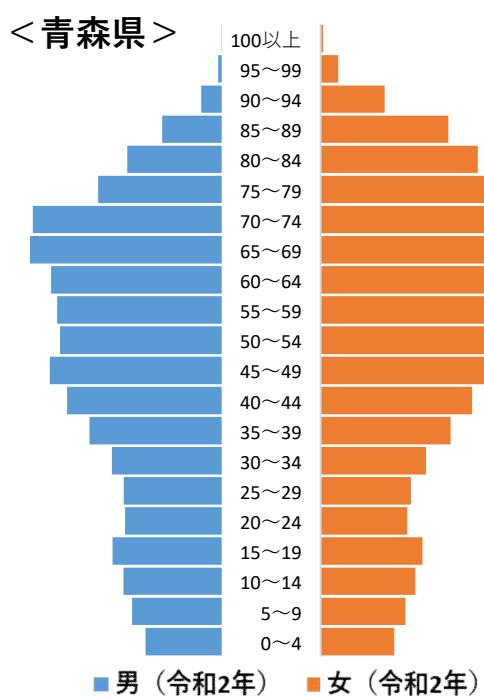
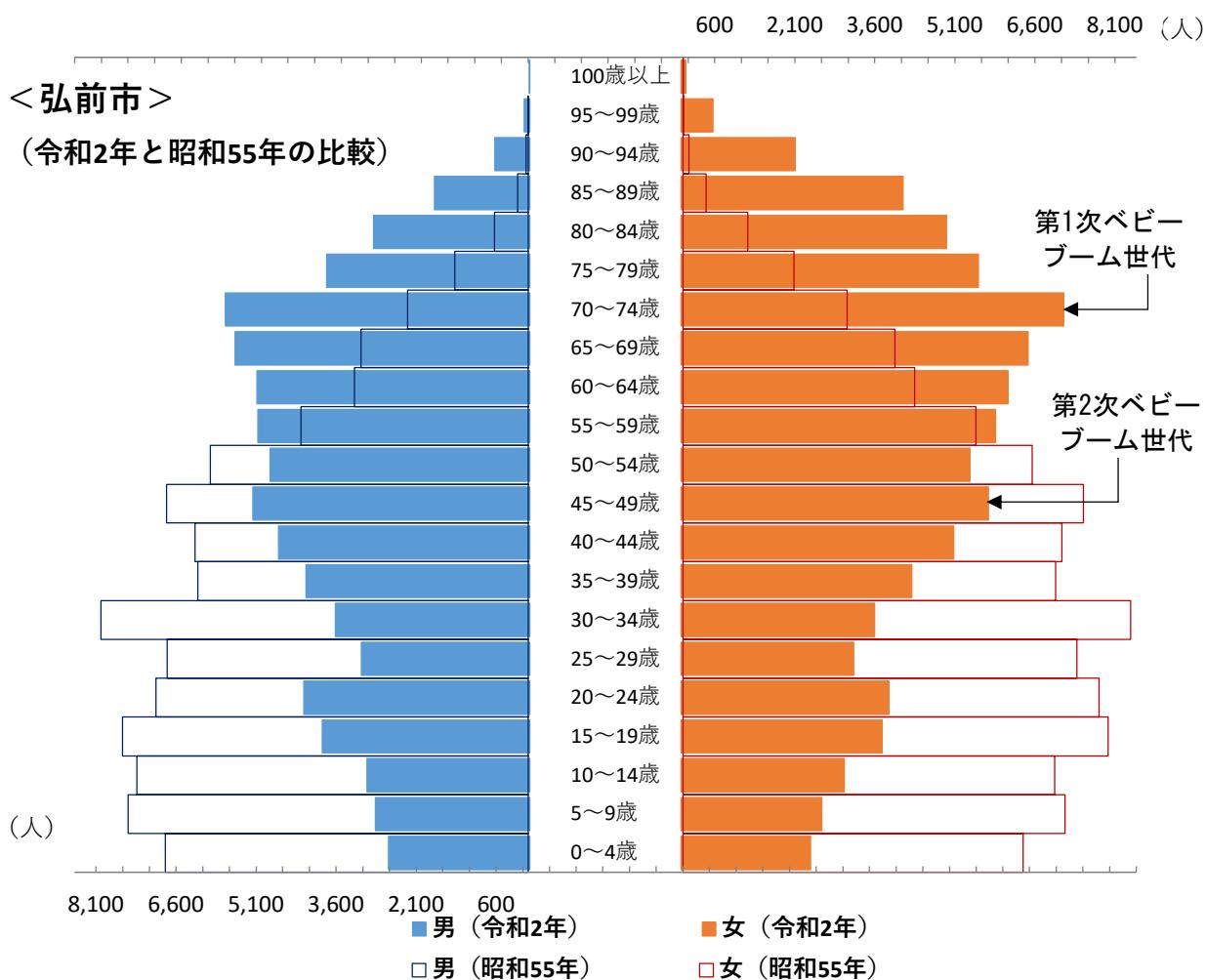
<弘前市>

(構成比)



資料：総務省統計局「国勢調査」

○人口ピラミッド



資料：総務省統計局「国勢調査」



○産業別民営事業所数

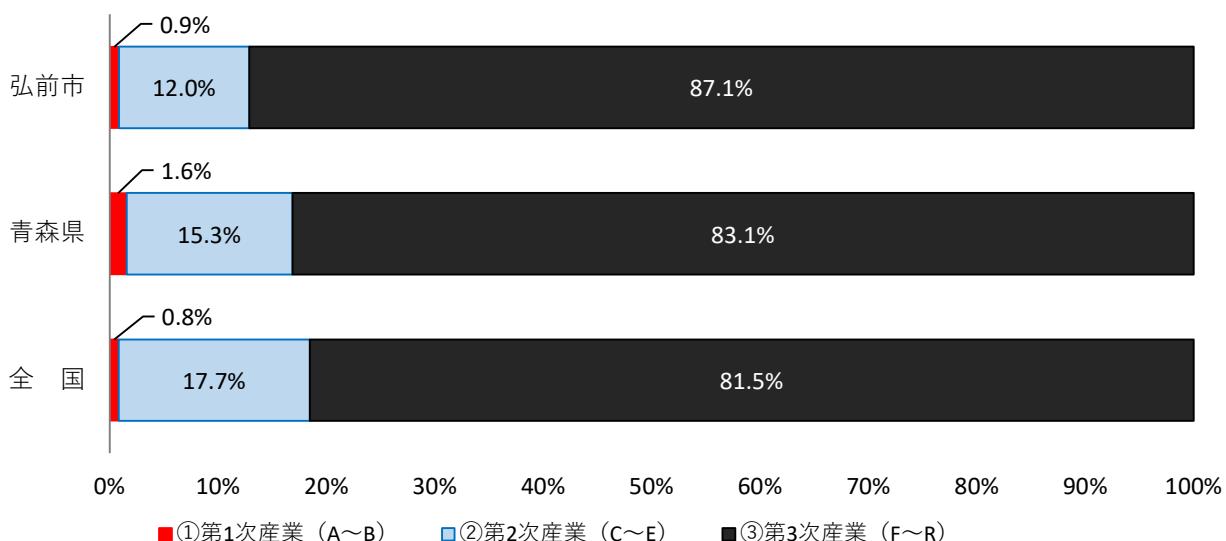
民営事業所数が最も多いのは「卸売業、小売業」で、次いで「宿泊業、飲食サービス業」、「生活関連サービス業、娯楽業」となっています。<弘前市>

産業分類		民営事業所数	割合
A～R 全産業（S 公務を除く）		7,526	100.0%
第1次産業	A～B 農林漁業	66	0.9%
	C 鉱業、採石業、砂利採取業	2	0.0%
第2次産業	D 建設業	568	7.5%
	E 製造業	334	4.4%
	F 電気・ガス・熱供給・水道業	13	0.2%
	G 情報通信業	54	0.7%
	H 運輸業、郵便業	142	1.9%
	I 卸売業、小売業	1,939	25.8%
第3次産業	J 金融業、保険業	155	2.1%
	K 不動産業、物品賃貸業	421	5.6%
	L 学術研究、専門・技術サービス業	262	3.5%
	M 宿泊業、飲食サービス業	1,004	13.3%
	N 生活関連サービス業、娯楽業	864	11.5%
	O 教育、学習支援業	255	3.4%
	P 医療、福祉	860	11.4%
	Q 複合サービス事業	62	0.8%
	R サービス業（他に分類されないもの）	525	7.0%

※個人で農業・林業・漁業を行っているいわゆる農林漁家は含まれない。

○産業3部門別の事業所の割合

弘前市では、青森県や全国と比べて第3次産業の割合が高くなっています。



資料：総務省統計局・経済産業省「令和3年経済センサスー活動調査」

○産業別就業者数

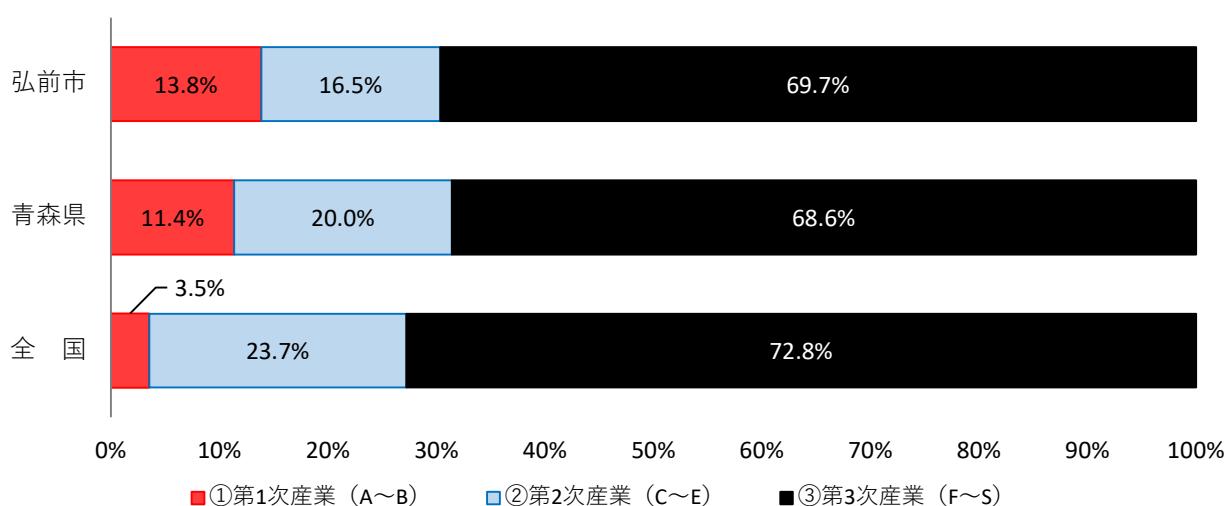
就業者数が最も多いのは「医療、福祉」で、次いで「卸売業、小売業」、「農業、林業」となっています。

<弘前市>

産業分類		就業者数	割合
総数 (産業大分類)		82,826人	100.0%
第1次産業	A 農業、林業	10,915人	13.2%
	うち農業	10,844人	13.1%
	B 漁業	2人	0.0%
第2次産業	C 鉱業、採石業、砂利採取業	14人	0.0%
	D 建設業	5,068人	6.1%
	E 製造業	7,913人	9.5%
第3次産業	F 電気・ガス・熱供給・水道業	346人	0.4%
	G 情報通信業	641人	0.8%
	H 運輸業、郵便業	2,791人	3.4%
	I 卸売業、小売業	12,557人	15.2%
	J 金融業、保険業	1,519人	1.8%
	K 不動産業、物品賃貸業	975人	1.2%
	L 学術研究、専門・技術サービス業	1,460人	1.8%
	M 宿泊業、飲食サービス業	4,282人	5.2%
	N 生活関連サービス業、娯楽業	2,921人	3.5%
	O 教育、学習支援業	5,140人	6.2%
	P 医療、福祉	13,297人	16.0%
	Q 複合サービス事業	804人	1.0%
	R サービス業（他に分類されないもの）	4,416人	5.3%
	S 公務（他に分類されるものを除く）	3,777人	4.6%
	T 分類不能の産業	3,988人	4.8%

○産業3部門別の就業者の割合

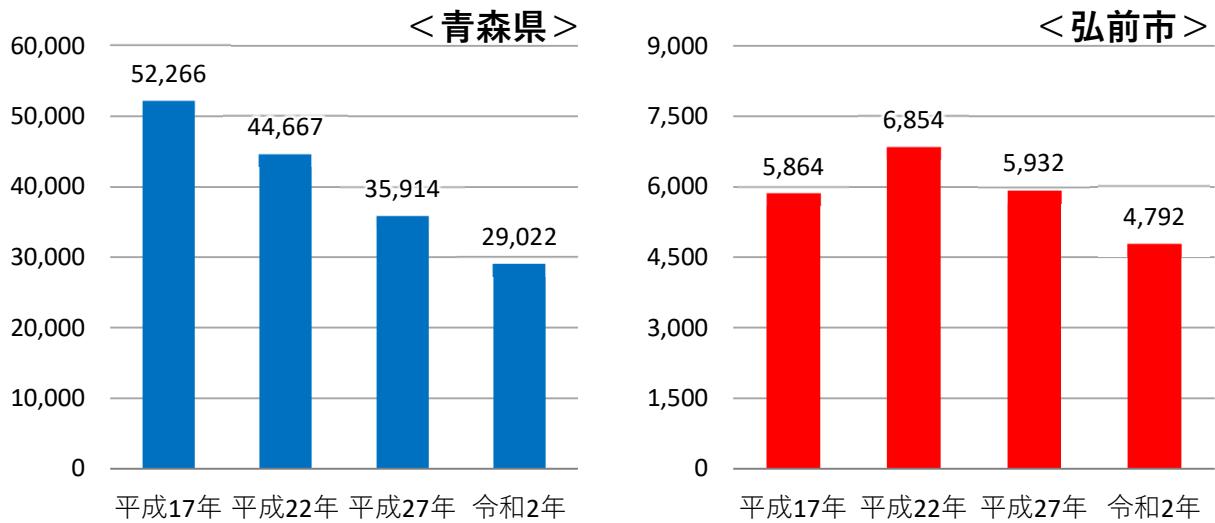
弘前市では、青森県や全国と比べて第1次産業の割合が高くなっています。



※「分類不能の産業」を除いた割合

資料：総務省統計局「令和2年国勢調査」

○農業経営体数の推移



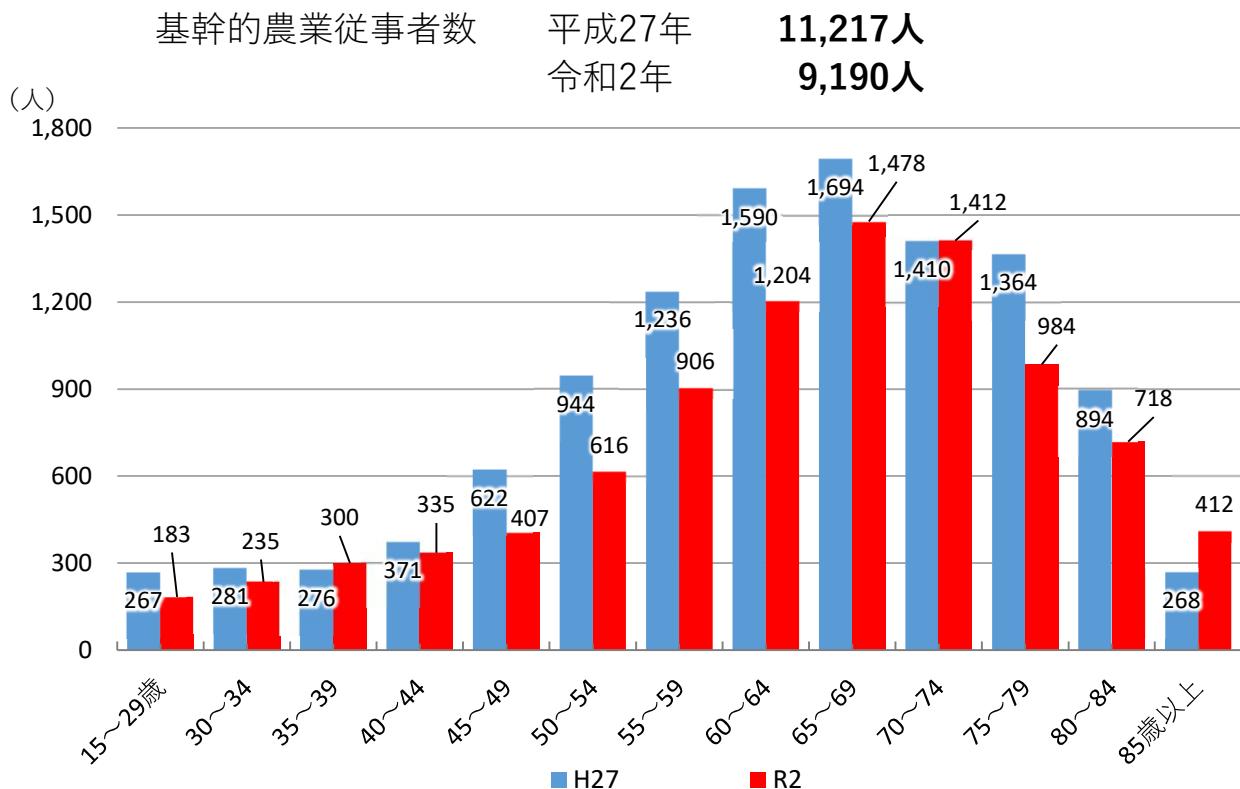
※「農業経営体」とは、以下のいずれかに該当するものをいう。

- (1) 経営耕地面積が30a以上
- (2) 農作物の作付面積又は栽培面積、家畜の飼養頭羽数又は出荷羽数等が一定の基準以上
- (3) 農作業の受託を実施

資料：青森県「農林業センサス農林業経営体調査青森県結果書」

○年齢別基幹的農業従事者数

<弘前市>



※「基幹的農業従事者」：自営農業に主として従事した世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事しているもの。

資料：青森県「農林業センサス農林業経営体調査青森県結果書」

○基幹的農業従事者の平均年齢

基幹的農業従事者の平均年齢は、青森県、全国に比べて低くなっています。

	平成22年 2010年	平成27年 2015年	令和2年 2020年
全国平均	66.1歳	67.0歳	67.8歳
青森県	63.2歳 (3位)	64.3歳 (2位)	65.4歳 (2位)
弘前市	61.7歳	62.9歳	63.8歳

※ () 内の順位は、都道府県における若さの順位。

なお、1位はすべての調査年において北海道となっている。

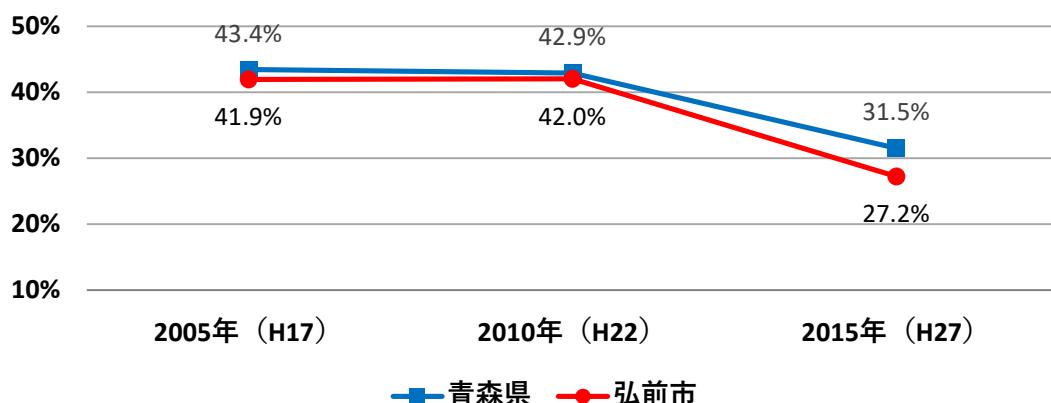
資料：農林水産省「農林業センサス」

○農業後継者の有無別農家数

弘前市、青森県とともに、同居農業後継者のいる農家の割合が大幅に減少しています。

		販売農家数計	同居農業後継者がいる	同居農業後継者がいない
2005年 (H17)	青森県	50,790戸	22,053戸 (43.4%)	28,737戸 (56.6%)
	弘前市	7,301戸	3,061戸 (41.9%)	4,240戸 (58.1%)
2010年 (H22)	青森県	43,314戸	18,596戸 (42.9%)	24,718戸 (57.1%)
	弘前市	6,538戸	2,749戸 (42.0%)	3,789戸 (58.0%)
2015年 (H27)	青森県	34,866戸	10,978戸 (31.5%)	23,888戸 (68.5%)
	弘前市	5,719戸	1,557戸 (27.2%)	4,162戸 (72.8%)

同居農業後継者がいる割合



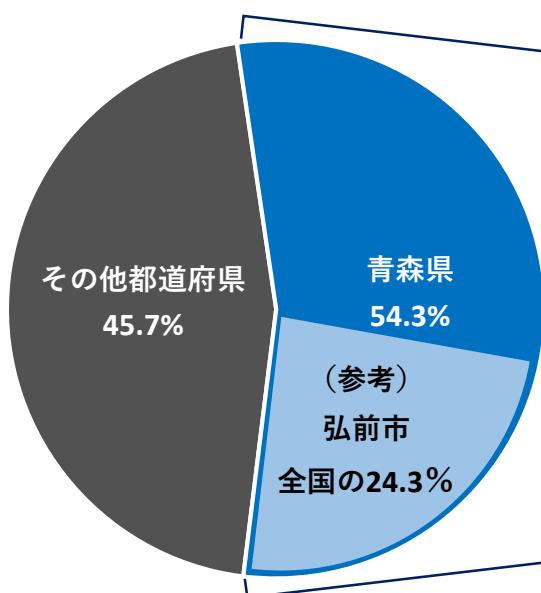
資料：農林水産省「農林業センサス」

○りんごの栽培面積

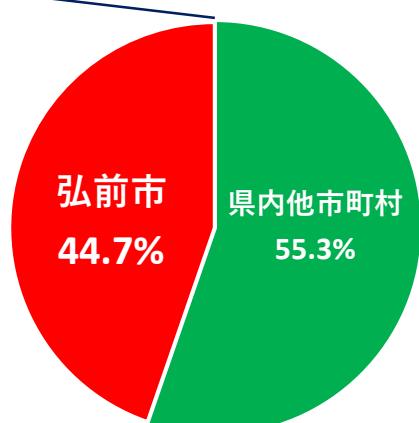
	平成27年			令和2年		
	面積 (ha)	全国比	順位	面積 (ha)	全国比	順位
全国	28,419	100.0%	—	25,446	100.0%	—
青森県	15,342	54.0%	1	13,810	54.3%	1
弘前市	6,870	24.2%	—	6,172	24.3%	—
長野県	5,628	19.8%	2	5,150	20.2%	2
岩手県	2,102	7.4%	3	1,792	7.0%	3
山形県	1,692	6.0%	4	1,453	5.7%	4
秋田県	1,031	3.6%	5	889	3.5%	5

○青森県・弘前市が全国に占めるりんご栽培面積の割合

<全国における青森県の割合>



<県内における弘前市の割合>



資料：農林水産省「農林業センサス」

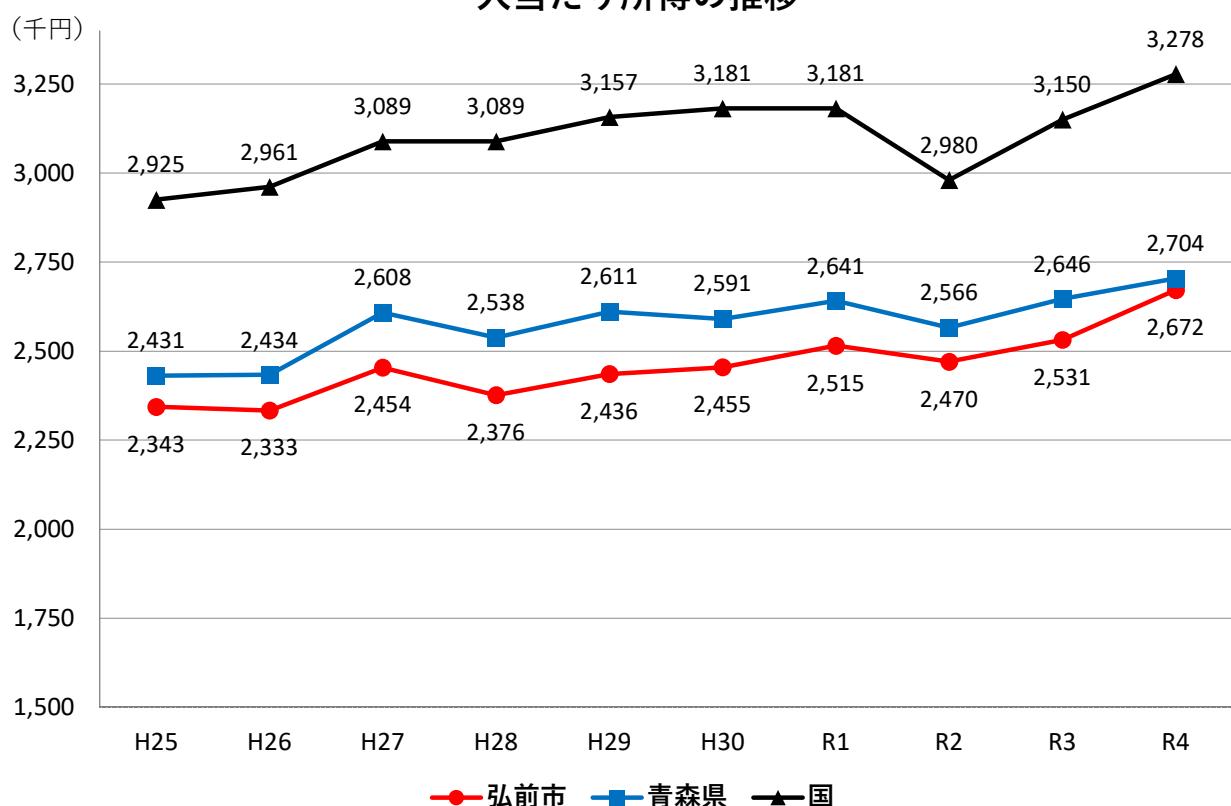
○一人当たり所得の推移

	一人当たりの所得（千円）			所得格差		
	弘前市	青森県	国	市／県 1)	市／国 2)	県／国 2)
平成25年度	2,343	2,431	2,925	96.4	80.1	83.1
平成26年度	2,333	2,434	2,961	95.9	78.8	82.2
平成27年度	2,454	2,608	3,089	94.1	79.4	84.4
平成28年度	2,376	2,538	3,089	93.6	76.9	82.2
平成29年度	2,436	2,611	3,157	93.3	77.2	82.7
平成30年度	2,455	2,591	3,181	94.8	77.2	81.4
令和元年度	2,515	2,641	3,181	95.2	79.1	83.0
令和2年度	2,470	2,566	2,980	96.3	82.9	86.1
令和3年度	2,531	2,646	3,150	95.7	80.4	84.0
令和4年度	2,672	2,704	3,278	98.8	81.5	82.5

1) 1人当たり県民所得=100とする

2) 1人当たり国民所得=100とする

一人当たり所得の推移



資料：青森県統計分析課「令和4年度青森県県民経済計算・市町村民経済計算」



労 働

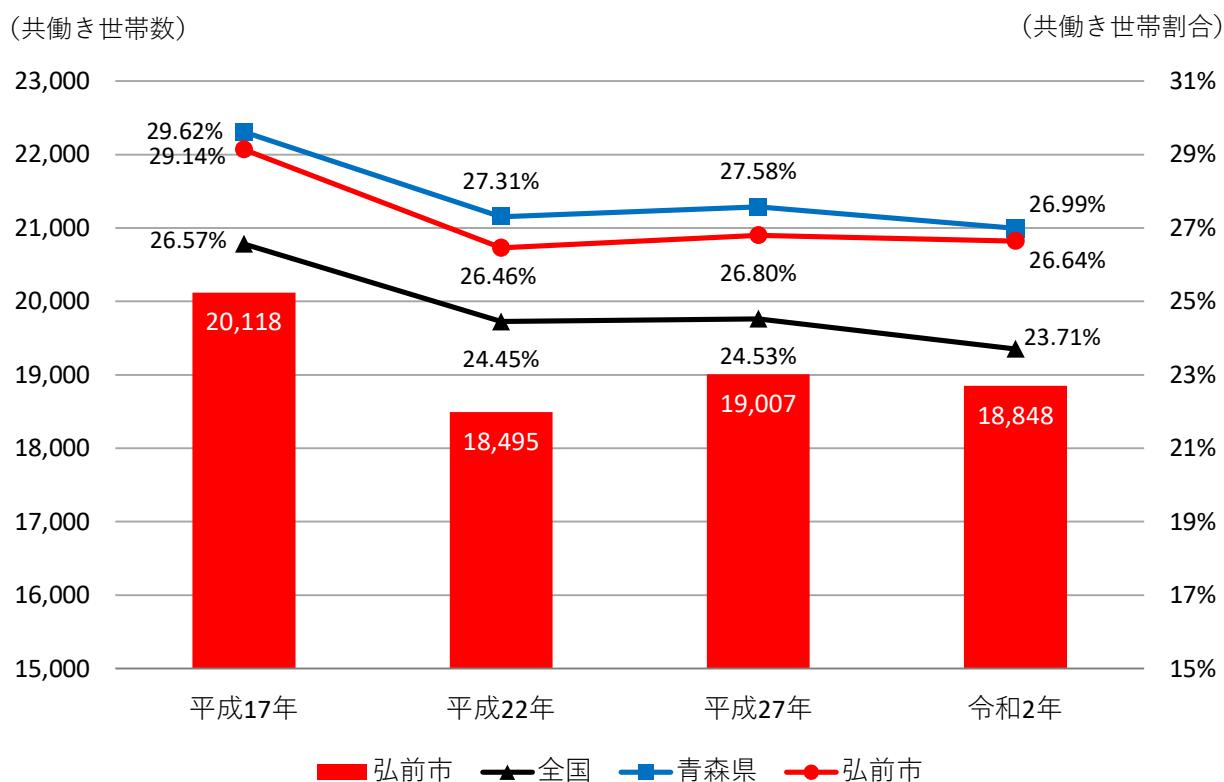


○共働き世帯割合

共働き世帯数	平成17年 2005	平成22年 2010	平成27年 2015	令和2年 2020
弘前市	20,118世帯	18,495世帯	19,007世帯	18,848世帯

共働き世帯の 割合	平成17年 2005	平成22年 2010	平成27年 2015	令和2年 2020
全国	26.57%	24.45%	24.53%	23.71%
青森県	29.62%	27.31%	27.58%	26.99%
弘前市	29.14%	26.46%	26.80%	26.64%

※共働き世帯の割合 = 夫婦がともに就業者の世帯数／一般世帯数



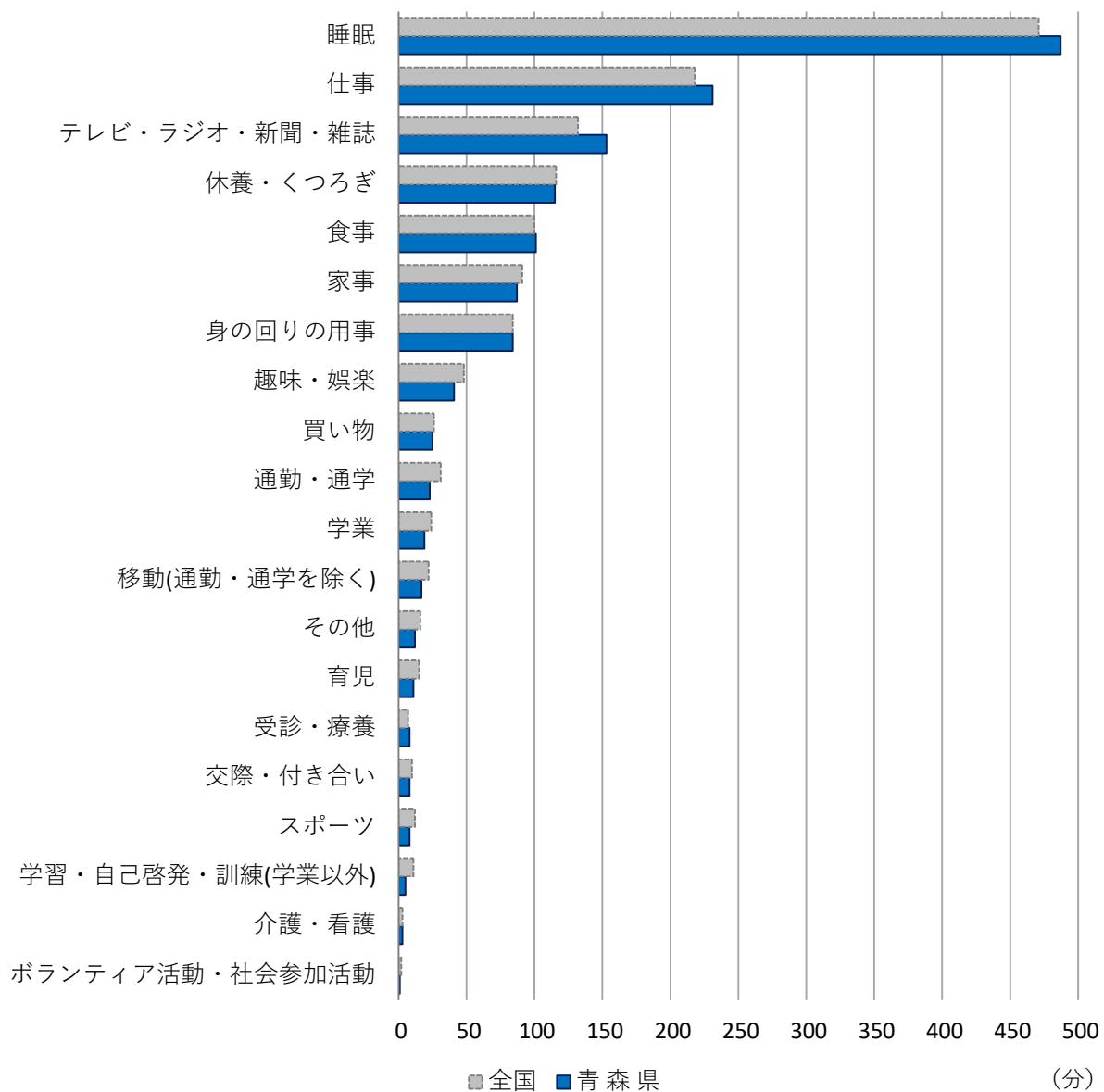
※資料：総務省統計局「国勢調査」



生 活



○青森県民の一週間の時間の使い方



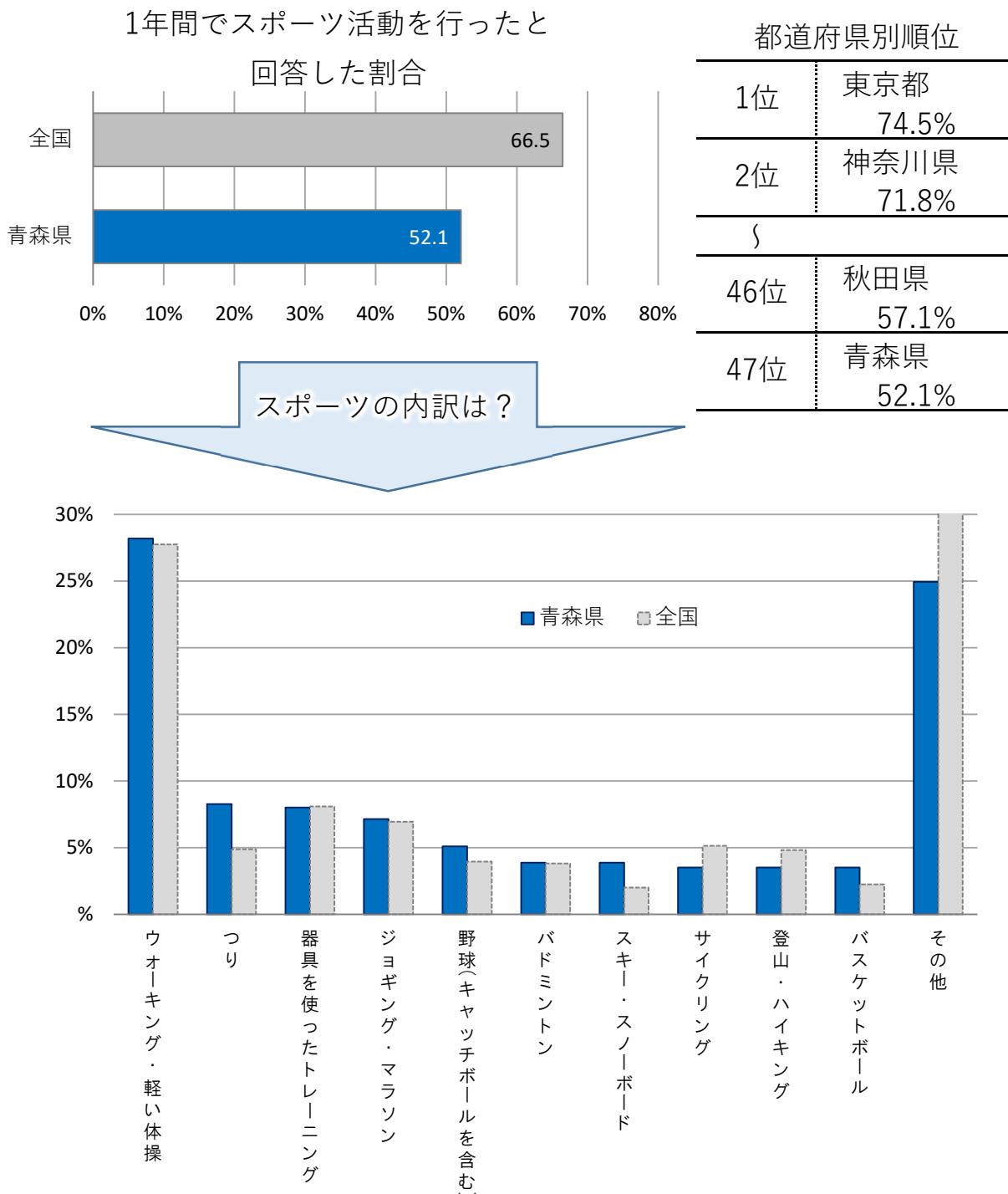
※資料：総務省統計局「令和3年社会生活基本調査」

○主な行動の平均時刻（平日）

	起床の平均時刻		就寝の平均時刻		睡眠時間 (週全体の総平均時間)	
1位	6:16	青森県	22:30	青森県	487分	青森県
2位	6:20	秋田県	22:32	秋田県	484分	秋田県
3位		岩手県	22:36	岩手県	483分	高知県 他

※資料：総務省統計局「令和3年社会生活基本調査」

○青森県民が1年間で行ったスポーツ活動



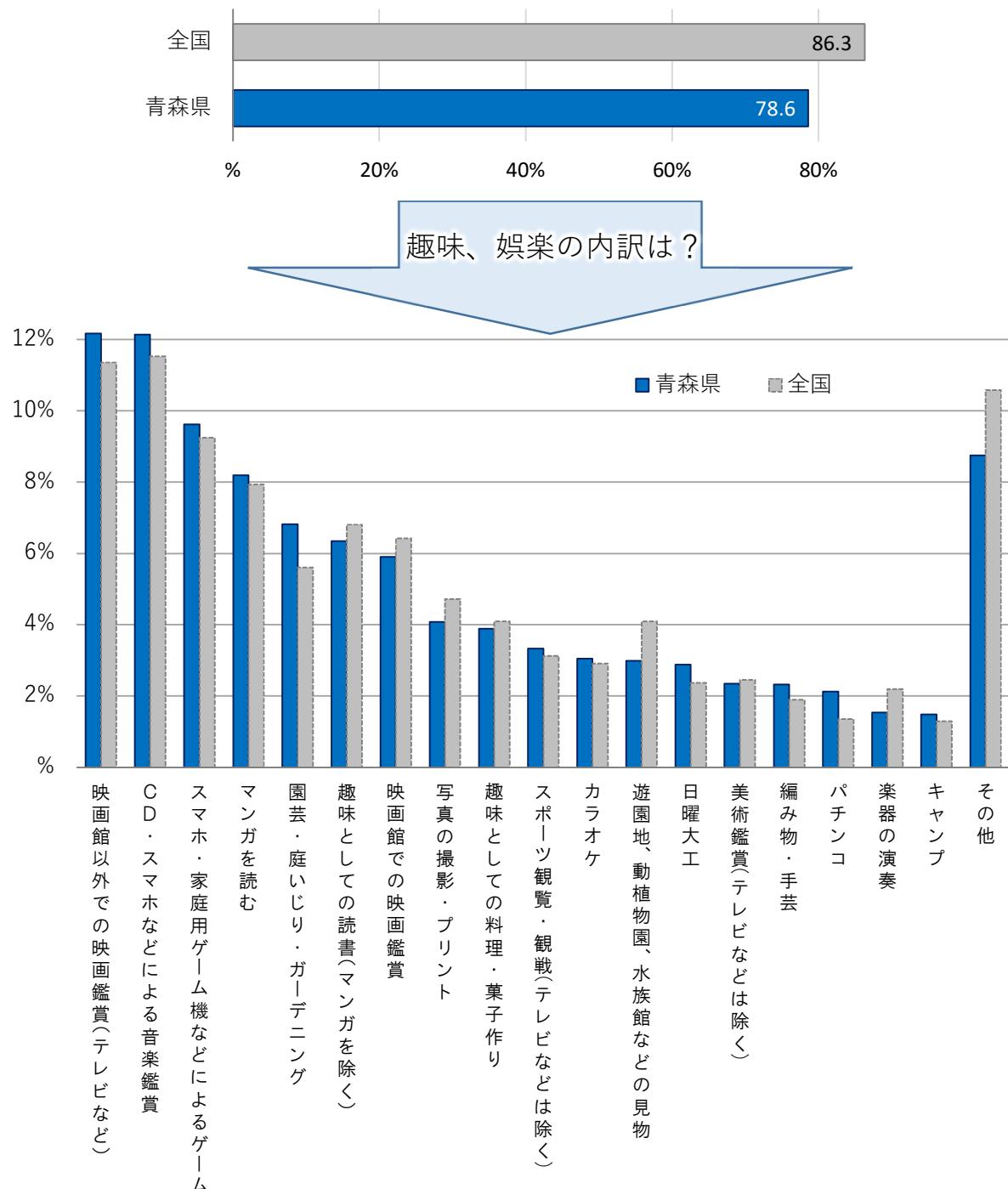
・その他には、サッカー（フットサルを含む）、ボウリング、水泳、バレーボール、ゴルフ（練習場を含む）、卓球、ヨガ、テニス、グラウンドゴルフ、ソフトボール、剣道、柔道などが含まれる。

・スポーツ活動を行ったと回答した人の合計を100%として按分

※資料：総務省統計局「令和3年社会生活基本調査」

○青森県民が1年間で行った趣味、娯楽

1年間で趣味、娯楽を行ったと回答した割合



- ・その他には、和裁・洋裁、コンサートなどによるポピュラー音楽・歌謡曲鑑賞、演芸・演劇・舞踊鑑賞(テレビなどは除く)、邦楽(民謡、日本古来の音楽を含む)、書道、将棋、コンサートなどによるクラシック音楽鑑賞、絵画・彫刻の制作、詩・和歌・俳句・小説などの創作、コーラス・声楽、邦舞・おどり、華道、陶芸・工芸、囲碁、洋舞・社交ダンス、茶道などが含まれる。
- ・趣味、娯楽を行ったと回答した人の合計を100%として按分

※資料：総務省統計局「令和3年社会生活基本調査」



住宅状況



○持ち家住宅率

持ち家住宅率の高い都道府県		
1位	秋田県	77.1%
2位	山形県	75.0%
3位	富山県	74.9%
(
11位	青森県	71.4%
(
(
45位	福岡県	52.7%
46位	東京都	44.7%
47位	沖縄県	42.6%

県内10市の持ち家住宅率		
1位	平川市	91.2%
2位	黒石市	81.5%
3位	つがる市	80.5%
4位	五所川原市	74.3%
5位	十和田市	72.1%
6位	むつ市	71.7%
7位	青森市	67.1%
8位	八戸市	66.0%
9位	弘前市	65.9%
10位	三沢市	58.7%

※資料：総務省統計局「令和5年住宅・土地統計調査」

○借家の一か月あたりの家賃・間代及び一畳あたりの家賃

一か月あたりの家賃・間代が安い順		
1位	鹿児島県	39,382円
2位	青森県	40,237円 ←
3位	宮崎県	41,373円
(
46位	神奈川県	70,915円
47位	東京都	87,118円 ←

一畳あたりの家賃が安い順		
1位	青森県	1,999円 ←
2位	鹿児島県	2,114円
3位	宮崎県	2,117円
(
46位	神奈川県	4,256円
47位	東京都	5,699円 ←

	一か月あたりの家賃・間代	一畳あたりの家賃
青森市	43,716円	2,261円
弘前市	42,104円	2,393円
八戸市	43,477円	2,096円

※「店舗その他の併用住宅」を除く「専用住宅」の家賃・間代

資料：総務省統計局「令和5年住宅・土地統計調査」



弘前市の1日



1

出生



2.0人 (R6年)

人口100万人あたり
弘前市: 12.4人
青森県: 12.1人
全 国: 15.6人

2

死亡



7.5人 (R6年)

人口100万人あたり
弘前市: 47.3人
青森県: 48.6人
全 国: 36.6人

3

婚姻



1.2組 (R6年)

人口100万人あたり
弘前市: 7.8組
青森県: 7.8組
全 国: 11.0組

4

離婚



0.7組 (R6年)

人口100万人あたり
弘前市: 4.3組
青森県: 4.1組
全 国: 4.2組

5

転入



11.1人 (R6年)

人口100万人あたり
弘前市: 69.6人
青森県: 37.8人
全 国: 57.5人

6

転出



12.9人 (R6年)

人口100万人あたり
弘前市: 80.7人
青森県: 50.3人
全 国: 57.5人

7

交通事故



0.8件 (R6年)

人口100万人あたり
弘前市: 5.0件
青森県: 5.4件
全 国: 6.6件

8

火災発生



0.2件 (R6年)

人口100万人あたり
弘前市: 1.1件
青森県: 1.3件
全 国: 0.8件

9

救急出動



24.0件 (R6年)

人口100万人あたり
弘前市: 150.4件
青森県: 138.4件
全 国: 175.8件

10

ごみ排出量



171トン (R5年)

1人あたり
弘前市: 1,051グラム
青森県: 970グラム
全 国: 854グラム

※数値は、年間の発生件数等を1日あたりに単純平均したもの。

※1～4 厚生労働省「人口動態統計」、5～6 総務省「住民基本台帳人口移動報告」、7 青森県警察本部「交通事故月報」、8 弘前地区消防事務組合「消防年報」・消防庁「火災の状況（確定値）」、9 弘前地区消防事務組合「消防年報」・消防庁「消防白書」、10 環境省「一般廃棄物処理事業実態調査」

政府統計

総務省統計局を始めとして政府諸機関が、国政上の必要からいろいろな統計を作成しており、これらを総称して「政府統計」といいます。

政府統計にはとても多くの統計調査がありますが、市民の皆さんの協力により実施されるものも多くあります。

その代表的なものとして、次のような調査が行われています。

こくせい

【国勢調査】

日本に住んでいるすべての人・世帯を対象に5年に一度実施。

日本の人口や世帯の実態を把握し、各種行政施策その他の基礎資料を得る。



【労働力調査】

全国から無作為に選定した世帯を対象に毎月実施。

就業・不就業の状態を明らかにし、景気判断や雇用対策等の基礎資料を得る。

【農林業センサス】

農林業を営んでいるすべての農家、林家や法人を対象に5年に一度実施。

日本の農林業の生産構造及び就業構造等の実態を把握する。

【経済センサスー活動調査】

全国すべての事業所及び企業を対象に5年に一度実施。

事業所・企業の経済活動を全国及び地域別に明らかにする。

【住宅・土地統計調査】

全国から無作為に選定した住宅やその他の建物・世帯を対象に5年に一度実施。

住生活に関する実態の現状と推移を全国及び地域別に明らかにし、住生活関連諸施策の資料を得る。

【就業構造基本調査】

全国からの無作為選定世帯における15歳以上の世帯員を対象に5年に一度実施。

国民の就業及び不就業の状態を調査し、全国及び地域別の就業構造に関する基礎資料を得る。

政府統計の総合窓口 (e-Stat)

統計データを一元的に利用できるポータルサイト

「e-Stat」 (<https://www.e-stat.go.jp/>) が開設されていて、誰でも調査結果を確認することができます。

e-Statに掲載されている政府統計は約700調査にのぼります。

The screenshot shows the homepage of the e-Stat portal. At the top, there is a navigation bar with links for 'お問い合わせ' (Contact), 'ヘルプ' (Help), and 'English'. Below the navigation is a 'ログイン' (Login) button and a '新規登録' (New Registration) link. The main content area is divided into several sections:

- 統計で見る日本**: A section describing e-Stat as a portal for viewing Japanese statistics. It includes a search bar with placeholder text '統計データを探す' (Search for statistical data) and a link to '統計データの活用' (How to use statistical data).
- 統計データを探す**: A section for searching statistical data. It includes three buttons: 'すべて' (All), '分野' (Field), and '組織' (Organization). Below these buttons is a search bar with placeholder text 'キーワード検索: 例: 国勢調査' (Keyword search: Example: Census) and a '検索' (Search) button.
- 統計データを活用する**: A section for utilizing statistical data. It includes four buttons: 'グラフ' (Graph), '時系リスト' (Time series list), '地図' (Map), and '地域' (Region). Each button has a description below it.
- 統計データの高度利用**: A section for advanced data utilization. It includes two buttons: 'ミクロデータの利用' (Microdata utilization) and '開発者向け' (Developer-oriented).
- 統計関連情報**: A section for related statistical information. It includes a button for '統計分類・調査計画等' (Classification of statistics and survey plans).

令和7年度 弘前市市民意識アンケート

市の施策等に対して、市民が日常感じている満足度やニーズを把握するためのアンケート調査を実施しています。

なお、集計結果は弘前市のホームページにも掲載していますのでご覧ください。

(https://www.city.hirosaki.aomori.jp/gaiyou/tokei/shimin_ishiki.html)

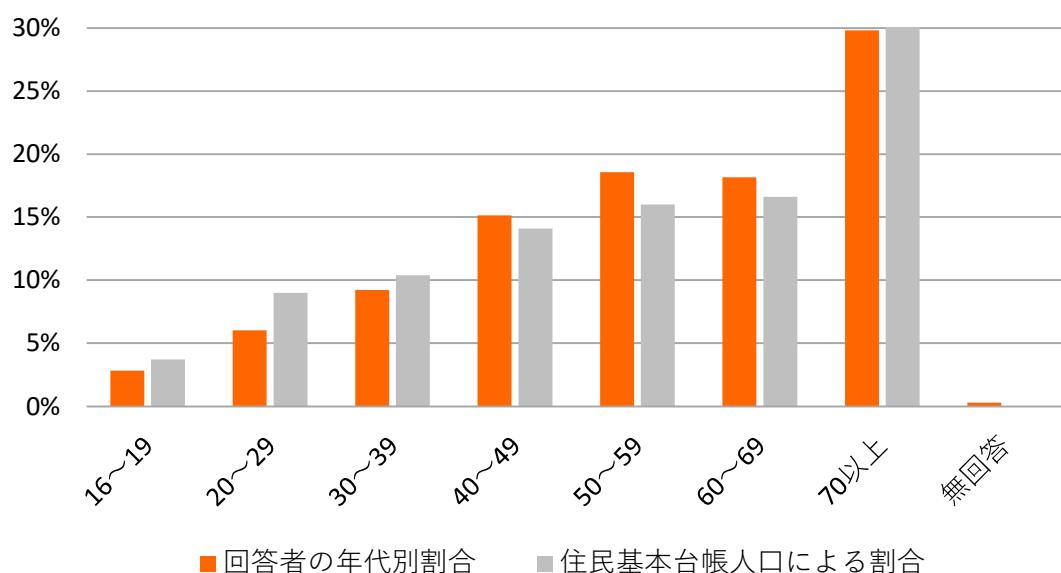
アンケートの回答状況

○回答者数

対象者数	回答者数	回答率
2,440人	1,778人	72.9%

○年代別回答者数

年代	16~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70以上	無回答	計
回答者数	50	107	164	269	330	323	530	5	1,778
構成比	3%	6%	9%	15%	19%	18%	30%	0%	100%



アンケート結果

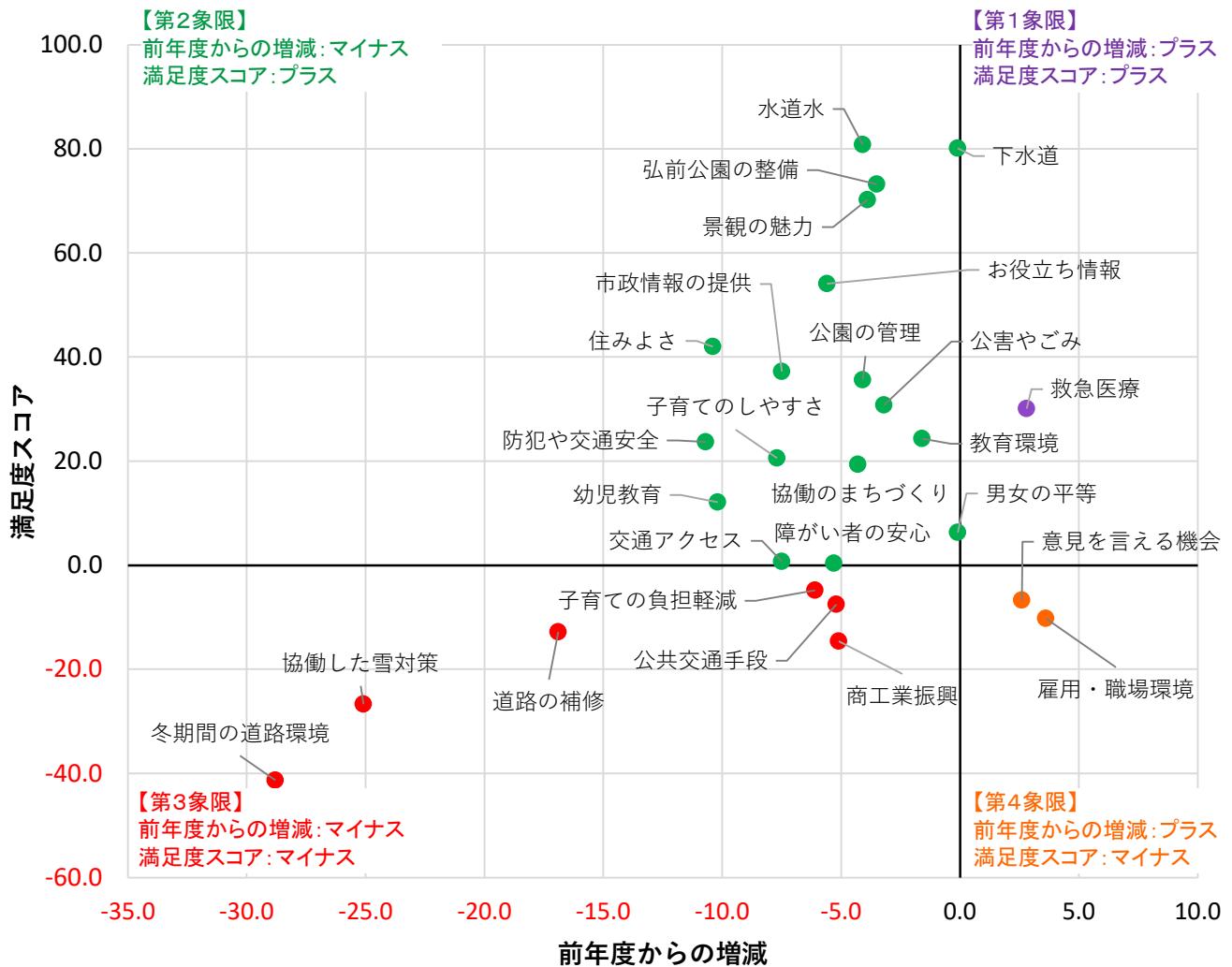
○満足度スコアの推移

令和7年度調査では、全60問のうち27問において満足度を計ることができ
る設問を設定しました。



※満足度スコア…満足度を計ることができる設問について、満足度（「満足」・「そう思う」、「どちらかといえば満足」・「どちらかといえばそう思う」と回答した人の合計の割合）から、不満度（「不満」・「そう思わない」、「どちらかといえば不満」・「どちらかといえばそう思わない」と回答した人の合計の割合）を差し引いた指標で、スコアが高いほど満足度が高いといえる。

○満足度スコアの分布図



オープンデータひろさき

弘前市のホームページでは、当市の様々な行政情報をオープンに発信しており、これらのデータはすべてのユーザーが再利用可能です。

オープンデータひろさき

検索



<https://www.city.hirosaki.aomori.jp/gaiyou/opendata/index.html>

2026年2月発行

弘前市企画部広聴広報課